

様式第5号（第10条関係）

パブリックコメント実施結果報告書
【案件名：第2期つくば市戦略プラン（案）】

令和2年（2020年）3月
つくば市政策イノベーション部企画経営課

■ 意見集計結果

令和元年(2019年)12月9日から令和2年(2020年)1月13日までの間、第2期つくば市戦略プラン(案)について、意見募集を行った結果、12人(団体を含む。)から42件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	1人
郵便	0人
電子メール	0人
ファクシミリ	1人
電子申請	10人
合計	12人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ 第1章 未来構想の概要 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	3 目指すまちの姿について、「つくばならでは」や「自分らしく」とはどんなものか。「ならでは」とか「らしく」とか抽象的な表現では分かりづらい。	1件	目指すまちの姿については、2030年におけるまちの姿を象徴的に現すものであるため、具体的な姿については、2030年の未来像や各個別施策において示していく内容としています。

○ 第3章 戦略プランの基本的な考え方 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
2	2 推進体制 (1) 庁内体制 について、体制が出来たらものごとが進むわけではなく、職員全員が自部門の役割と使命、他部門との係わり合いを具体的に知ることか	1件	未来構想・戦略プランを策定して終わりではなく、進行管理はもちろん、予算や人事評価、組織編成等においても、未来構想等を中心に行政が進んでいく体制をつくる必要があると考えて

	ら始めるとともに、現状を共有し、目指すところとのギャップを共有することが大切である。		おり、職員一人ひとりが未来構想等を共有し、そのために何ができるのかを考えて動くことが重要であると考えています。
3	(2) 地域・市民の力や民間活力等の活用による推進について、茨城県が認証したNPO法人数でNo. 1はつくば市の140団体、市民活動センターに登録しているNPO・ボランティア団体数は144。このような人達が地域課題解決のために、色々な主体と協働することはつくば市にとって大きな力となり、新しい公共につながるものであり、課題を市民にどのように働きかけるのかを具体的に示すべきである。	1件	御指摘のとおり、「地域課題解決のために、色々な主体と協働することはつくば市にとって大きな力となる」ことから、当項目に追加を行います。
4	(3) 取組の検証について、PDCAマネジメントサイクルを回すには計画時点で検証が出来るようになっていくかがポイントで、5W1H、つまり、人・モノ・金・情報が明記されていることが重要である。	1件	主要プロジェクトの指標設定や進捗管理については、事業実施計画において行っていく予定であり、御指摘の情報を明記します。

○ 個別施策「I-1-① 地域活動と市民チャレンジへの支援」について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
5	指標「市民活動センターにおける相談件数を増やします。」について、代用特性の1つだとは思いますが、指標としては目標に遠い。相談窓口を増やすとか、子供から高齢者までの多くの市民が集える居場所を増やすことなどが	1件	この基本施策では、住みよい地域社会づくりのために地域活動の支援を行うことを目的としており、市民チャレンジの拠点となる市民活動センターの充実により、市民活動センターに来れば地域活動について必ず相談できるという状況を作ることが重

目標となるのではないか。	要であると考えます。
--------------	------------

○ 個別施策 I-1-② 区会加入及び新規区会設立促進と活動支援 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
6	区会が住民に対して何が出来るのか、住民は何を期待しているのかなど、話し合いをすることから始める。高齢化世帯、共稼ぎ家庭等々、生活以外の時間が取れない実態があるが、お互いが助け合う関係をどのように作るかがポイントである。	1件	区会の負担軽減を図るため、市では電子回覧板の導入の実証実験等を実施しています。今後とも行政と地域の意思疎通を図り、多様化するライフスタイルに対応した区会活動支援を行います。

○ 個別施策 I-1-③ 市政への市民参加の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
7	市民委員の選出に無作為抽出で依頼する方法が残っており、テスト的に実施されることを提案したい。	1件	市では、平成30年4月に「つくば市附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに委員等候補者の登録に関する要綱」を策定しており、その中で、公募に加え、住民基本台帳から無作為に抽出した市民に委員就任を依頼する方法も規定しました。平成30年5月には第1回目の抽出及び市民委員候補者の名簿登録を実施しており、引き続き本事業に取り組んでいきます。

○ 個別施策 I-1-④ SDGs普及による市民活動の促進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
8	SDGsは全てにわたる開発目標で、市民活動に特化したテーマではない。個々の市民活動団体はSDGsの17のゴールに関係した活動をしており、活動団体数を増や	1件	御指摘のとおり、SDGsは市民活動だけにかかわるものではありません。つくば市戦略プランではすべての施策にSDGsの考え方を含んでいますが、この個別施策では特に、SDGs

	し、活動内容の質を高めることがゴールに近づくのではないか。		の普及啓発により、持続可能なまちづくりの実現に貢献する活動を支援することを目的としています。 なお、市民団体の活動については「I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援」の各主要プロジェクトに紐づく事業において支援を行っていきます。
9	SDGsは市民活動だけに係わるものではないことから、「SDGs」＝「未来構想」＝「戦略プラン」＝「持続可能都市ビジョン」であることを強く打ち出すべきである。	1件	御指摘のとおり、SDGsは市民活動だけにかかわるものではありません。つくば市戦略プランではすべての施策にSDGsの考え方を含んでいますが、この個別施策では特に、SDGsの普及啓発により、持続可能なまちづくりの実現に貢献する活動を支援することを目的としています。

○ 基本施策I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
10	資源の中に歴史遺産・文化遺産を入れるべきである。	1件	つくば市が資源として捉えているものの中に歴史遺産・文化遺産は含まれており、個別施策I-2-③ 文化芸術の推進及び文化財の保存と活用 において保存と活用を推進します。
11	エネルギーの地産地消について記載し、土地や自然を保全する前提でのエネルギー政策を入れるべきである。	1件	エネルギーの循環等については、基本施策IV-4 地球に優しくごみのない低炭素で循環型のまちをつくる において含まれており、戦略プランの推進に当たり、参考にさせていただきます。
12	里山、河川敷を利用したウォーキングコースを整備し、健康増進を意図する人たちの	1件	自然を活用したフットパスの整備を行っており、観光や健康増進等の多角的な視点から今後も

	訪れる場所にしていくべきである。		活用していくため、個別施策 I-2-② 豊かな資源を活かした観光の振興 の主要プロジェクトに追記します。
--	------------------	--	--

○ 個別施策 I-2-③ 文化芸術の推進及び文化財の保存と活用 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
13	遺跡史跡マップを作り、小さな古墳や神社まで各所に看板でその遺跡史跡を紹介し、学校教育でも扱うとともに、歴史民俗系のしっかりした博物館などを作る計画を立てるべきである。	1件	御指摘の内容は非常に重要であると捉えており、規模の小さな遺跡・史跡についても保存と活用を進めています。文化財展示施設については、個別施策の主要プロジェクトに含まれていることから、引き続き調査等を進めていきます。

○ 基本施策 I-3 つくばならではの街並みや体験を創出する について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
14	まちの魅力づくりにエネルギーの視点を盛り込んでいただきたい。「環境に優しいまちづくり」と「災害に強いまちづくり」という概念を盛り込み、エネルギー利用の効率化や新エネルギーの活用による都市の低炭素化とエネルギーの多様化・多重化による都市防災機能の向上と合わせて、まちづくりを推進していただきたい。	1件	「災害に強いまちづくり」については基本施策「II 誰もが自分らしく生きるまち」において取組を進めており、「環境に優しいまちづくり」については「IV 市民のために科学技術をいかすまち」において取組を進めています。エネルギー利用の効率化や多重化は非常に重要な視点であるため、戦略プランで示した施策の推進に当たり、参考にさせていただきます。

○ 個別施策「I-3-① 魅力ある研究学園都市地域の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
15	主要PJ②「緑豊かな市街地創出に向けた街並み誘導の実施」について、現状では研究学園地域周辺および官舎跡地は既存の緑をほぼ残さ	1件	研究学園都市域内の国家公務員宿舎については、平成25年に国から国家公務員宿舎削減計画が公表され、段階的に売却が行われています。実際に売却が行

<p>ず再開発している。見かけ上の緑被率ではなく、在来緑地環境や高齢の樹木を保有した幅5m以上のグリーンベルトや一定面積以上のグリーンインフラの維持など真の緑被率を法的に指定し、遵守されなかった場合の罰則も設定すべきではないか。</p>		<p>われる際には、市としては、地区計画の制度を活用し、緑化率の最低限度や緑地帯の設置のほか、既存樹木についても保全・活用に努めることを方針として定めています。今後も引き続き、地区計画等の制度を活用し、良好な都市環境を誘導していきます。</p>
--	--	--

○ 基本施策「Ⅱ-1 地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる
について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
16	<p>在宅医療・介護連携推進事業に関しての項目がない。巻末には書かれているが、本文にも書くべきではないか。</p>	1件	<p>在宅医療・介護連携推進事業に関しての項目については、p32 基本施策「Ⅱ-1 地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる」内の個別施策4「地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実」に含まれ、p36 に取組の内容が記載されています。</p>

○ Ⅱ-1-② 民生委員等のサポート強化と次世代の育成 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
17	<p>「つながり」の視点から市独自の施策を今後開発する視点があってもよいのではないか。ボランティアに限界がある一方、「孤立」に陥る懸念のある方々は確実に増える。つくばらしさを打ち出す既存制度の活性化に踏み込む視点があってもよいのではないか。</p>	1件	<p>つくば市では広く地区ごとに民生委員が配置されており、相談できる体制づくりに大きく貢献しています。 相談でき、安心して暮らせる地域づくりのため、ふれあい相談員や地域との連携により、民生委員の負担を軽減するとともに、世代や分野を超えたつながる場をつくることで、地域全体で支え合う体制の構築を目指します。取組を進めるにあたっては、人材の多様性等のつくば市</p>

		が持つ強みをいかしていきたいと考えています。
--	--	------------------------

○ **Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの防災・防犯への備えを後押しする** について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
18	目指すまちの姿にある「誰一人取り残されず、一人ひとりの安心が守られ、地域の隅々まで福祉がいきわたり、つくばに集うすべての人が自分らしく生き、自然豊かで幸せがあふれるまち」の実現のため、災害弱者である在宅療養中の方に対する電源の確保策および福祉避難所の整備、身体障害者手帳が未交付である医療的ケア児等を含めた対象者の把握の必要性について、行政単位で検討していただきたい。	1件	<p>現在、災害時の避難行動要支援者対応としては、民生委員や市職員が浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内の避難行動要支援者へ直接訪問や電話による安否確認、避難所の開設状況、早めの避難行動の開始、心配ごとの相談などを行っているところです。また、身体障害者手帳が未交付である方々については、本人申し出等により避難行動要支援者として登録できる制度になっています。</p> <p>災害時の電源の確保における発電機購入の助成や、福祉避難所の整備における福祉事業者との連携拡充については、個別の事業において進めていきます。</p>
19	避難場所について全く触れていない。人口増のつくば市では災害時に備え、徒歩圏内に十分な避難場所を確保できているのか。今年の19号台風の際、ある地区では避難所が避難勧告地区になり、急きょ別の場所が避難場所になったと聞いている。計画の見直しが必要ではないか。	2件	<p>市では、災害時の指定避難所として、民間との協定による設置も含めて112箇所（想定収容人数：約15,000人）を指定するとともに、ハザードマップやホームページ等にて、周知を行っています。また、災害の際には、地域の状況に応じた対応が求められることから、地域における災害リスクに応じた地区防災計画の策定を支援しています。</p> <p>ただし、避難所は、収容人員に限りがあるとともに、自宅の倒壊または倒壊のおそれがある場合等、自宅での生活が困難な</p>

			方が身を寄せる場として開設するものであり、自宅が安全で、居住の継続ができる状況であれば、自宅での避難生活をお願いしており、自宅の安全・備蓄対策をお願いしています。
--	--	--	---

○ 個別施策Ⅱ-5-② 自動車から自転車への転換の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
20	レジャー・スポーツよりもまず日常生活での自転車利用を優先し、中心部のみでなく市域全体の道で、特にバスも通らないような道こそ安全に通行できるか点検し、対策してほしい。	1件	日常生活における自転車利用の促進も踏まえ、自転車が快適に利用できる環境整備等を推進していきます。 周辺市街地においても、道路の安全管理とあわせて自転車走行空間の整備を進めていきます。

○ 基本施策Ⅱ-6 身近な自然を守り、楽しみ、持続させる について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
21	各所に残された里山、河川と河川敷をいれて欲しい。訪れたい自然環境を保持するためには、保全活動が必要である。	1件	「身近な自然」の中に里山などが含まれており、改めて説明する文章を追加します。つくばの本来の自然を保全していくことを前提として今後も施策を推進していきます。

○ 個別施策Ⅱ-6-① 身近な自然を楽しむ環境づくり について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
22	筑波山と牛久沼しか「自然」と表される場所が出てこない。筑波山はつくば市の象徴的な自然環境であるが、人の生活に隣接する環境にこそ多くの保護・保全すべき生物種が多数生息している。日常生活に隣接した自然環境の重要性を普及啓発すべきではないか。	1件	「身近な自然」の中に里山などが含まれており、改めて説明する文章を追加します。つくばの本来の自然を保全していくことを前提として今後も施策を推進していきます。

○ 個別施策 II-6-② 自発的な保全活動の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
23	道や公園といった人工的空間だけでなく、里山などの身近な自然を最重視すべきである。外来の植物や木を植えてこむことにより、この地のもともとの自然を再生することが肝心で、この地の特色を出すことになる。	1件	「身近な自然」の中に里山などが含まれており、改めて説明する文章を追加します。つくばの本来の自然を保全していくことを前提として今後も施策を推進していきます。

○ 個別施策 III-1-③ こどもも親も楽しめる遊べる場の整備 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
24	課題・ボトルネックとして公園等の不足をあげているが、人工的な公園より、里山の下草刈り等で、遊べる里山を作ることが重要で、あわせて、遊びの指導員の子育てグループ、幼保育施設への派遣なども必要である。	1件	中心・周辺部を含め、市内の多くの居住地における遊べる場として公園が果たす役割が大きいことから、課題として公園の不足をあげているが、自由に遊べる場所としてのプレイパークや地域の広場といった公園以外の整備の重要性についても認識しており、あわせて遊びの指導を通じた交流等を推進していきます。

○ 基本施策 IV-1 知識集約によってイノベーションを創出する について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
25	いわゆる理科系的技術シーズの産業化を念頭にあり、「技術」に絞り込まれているのが気付きである。個別施策「III-3-① 多様性をいかした社会の推進」にあるように、外国人対応・共生のノウハウがビジネスに転換できる可能性があり、サービス系の知識創業への支援が漏	1件	基本施策「IV-1 知識集約によってイノベーションを創出する」については、研究機関等のすぐれた研究・技術シーズが豊富である、というつくば市の一つの特徴に視点をおいた施策となっていますが、基本施策「IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる」において、技術系のみならず一般創

	れ落ちないような配慮が必要ではないか。		業に対する支援や地元企業等に対する資金補助などを行う内容となっています。
--	---------------------	--	--------------------------------------

○ 基本施策 IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
26	商工会等の市内既存団体との連携強化の視点がないことが気がかりである。戦略プラン全体として「つながり」を標榜しながら、市内の重要な社会資源である市内各組織との繋がりを強化し、施策を開発・設定する旨の記述が不足しているように感じる。	1件	商工会を含めた市内関係機関との連携強化については、個別施策「IV-2-① 地域産業人材の確保・定着の推進」及び「IV-2-② 地元企業等の新たなチャレンジの支援」を推進する上で重要であると認識しており、主要プロジェクトにも連携構築について記載しています。 未来構想及び戦略プラン全体に関連する内容として「つながる」ことを標榜し、施策等の内容に盛り込んでいるが、指摘のように不足点や今後よりやれることがあると考えられるため、各施策の推進にあたり十分に意識していきたいと思えます。

○ 個別施策 IV-4-② 再資源化、再利用化の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
27	物質材料研究機構が中心になって、都市鉱山と称して、廃却された電子機器から貴金属を抽出して、オリンピックの金メダルを作っているが、次はつくばマラソンのメダルに使うプロジェクトが進められているため紹介する。	1件	御紹介いただいた事例等も参考に今後も再資源化、再利用化の取組を進めていきます。

○ 個別施策 IV-4-④ 低炭素化の推進 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
-----	------	-----	-------

28	<p>「うまくいっている点」として「移動式水素ステーションの開設」が挙げられているが、今後、FCVが増えていった場合、供給が追いつかないことは明らかである。いばらき水素戦略にも挙げられている「水素先進県」として、つくば市役所や日本自動車研究所のようにつくばエクスプレスからも見えるような立地に水素ステーションを誘致し、休日や夏休みに全国からたくさんの方が利用するサイエンスツアーバスに燃料電池バスSORAを採用したりすることが水素に関する県民・市民への発信になるのではないか。産学官一体となって、より貢献度の高い具体的な低炭素化の推進に取組を期待している。</p>	1件	<p>産学官一体となった低炭素化の推進については、現在策定中の「つくば市地球温暖化対策実行計画」に基づいて取り組んでいきます。具体的な取組を進めるにあたっては、いただいた事例等も参考にさせていただきます。</p>
----	--	----	--

○ 「I-3-① 魅力ある研究学園都市地域の推進」、「II-3-① 市の備蓄の推進や公共施設の機能維持」、「II-4-② 保有資産の有効活用の推進」、「II-4-③ 保有資産の適正化」について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
29	<p>ハブアンドスポーク型都市構造に向けて、中心市街地に就労場所をつくっていただきたい。引きつける力（定住・交流）のあるまちづくりを目指し、地元の行政・住民等に加えて、新たにつくば市に進出する企業や移り住む住民の視点を取り入れて、実現に向けて取り組んでいただきたい。</p>	1件	<p>「<u>I-3-① 魅力ある研究学園都市地域の推進</u>」において、中心市街地を中心とした引きつける力や魅力を向上させる施策を記載していますが、産業創出につながるイノベーション拠点に関する内容を補足します。あわせて、「<u>IV-1 知識集約によってイノベーションを創出する</u>」や関連施策において、中心市街地にある産業振興センターの利</p>

			活用等の起業や就労を向上させる施策に取り組んでいますが、御指摘の内容は重要な視点であるため、今後の施策の推進に当たり、参考にさせていただきます。
--	--	--	--

○ Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの防災・防犯への備えを後押しする、「Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する」、「Ⅳ-4 地球に優しくごみのない低炭素で循環型のまちをつくる」について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
30	基本施策にエネルギーの視点を盛り込んでいただきたい。地震や台風等の災害による停電等のエネルギー供給途絶リスクを回避・緩和するために、エネルギー供給源の多様化・多重化、具体的には都市ガス等による常用分散発電を推進していただきたい。	1件	「Ⅱ-3-① 市の備蓄の推進や公共施設の機能維持」において、非常用電源の確保に関する施策に取り組んでいますが、エネルギー多様化・多重化は非常に重要な視点であるため、今後の施策の推進に当たり、参考にさせていただきます。

○ 基本施策「Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる」、「Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む」、「Ⅲ-3 多様性をいかした誰もが活躍できる社会をつくる」について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
31	Ⅲ-3 については、外国人に対する基本施策が特出しで書かれているが、Ⅲ-1 及び 2 については、日本人のみを対象にかかっているように見える。本来は、つくばに住む人たちはすべて関わってくると思うので、誤解されないような書き方にし、例えば、Ⅲ-1、2 の頭に「すべての市民を対象に」という文言を加えた方がいいのでは	1件	Ⅲ-3 はもちろん、Ⅲ-1、2 のみならず、全ての基本施策の対象として、外国人を含めた全ての市民を対象としており、特にⅢ-3 では特に支援が必要な方を対象とした追加支援の内容となっています。対象が日本人に特定されている訳ではないことから、「全ての市民」、「全てのこども」等と追加すると逆に不自然な内容となることから、追加は見送りたいと思います。

	ないか。	
--	------	--

○ 市政全般・戦略プラン全体 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
32	つくば市政全般として、「外向きに見栄えが良い文言・内容」が多く見受けられ、お年寄りや子供達、高度な言葉や技術とは馴染みがない市民にも理解できるような市政を進めるべきである。	1件	当戦略プランの策定に当たって最も配慮しているところであり、引き続き戦略プランの推進の際にも配慮していきます。
33	まちづくりの理念「つながりを力に未来をつくる」や、「つくばがつながるための視点」に関連して、全般的に「つながり」に直結する指標が必要であると感じるが、設定されていないように見受けられる。	1件	「つながる」ということを数値で表すことが難しいことや、「つながる」ことは手段であることから直接的な指標として用いていませんが、施策の基本的な考え方として共有を行っています。
34	個別施策について「現状値と目標値」が掲げられているが、目標値と主要プロジェクトの間の関連性が不明確である。KPIが設定されるべきは主要プロジェクトであり、それらの管理を通して個別施策の進捗へ還元するという発想でなければならないのではないのか。	1件	主要プロジェクトを実施することで個別施策の目的と方向性の達成に寄与するように設定し、個別施策の指標は目的と方向性を端的に表すものとしています。主要プロジェクトの指標設定や進捗管理については、事業実施計画において行っていく予定です。
35	個別施策において目標値が保守的過ぎるのではないかという数値が設定されている。別目標では野心的と思われる内容もあり、総花的でなく重点的対応を行なうのであれば、傾斜的資源配分を行なう意向をもう少し分かりやすく打ち出してもよいの	1件	施策の目標値の設定については、減少傾向のものを維持する指標など、数字の多寡だけでは積極性を測れないものがあるため、巻末に設定根拠を示しています。傾斜的資源配分については、全体に関係する内容であるため、「第3章 戦略プランの基本的な考え方」において基本

	ではないか。		的な考え方を示しています。
36	未来構想改定（案）の熟度が低すぎて、個別施策についての指摘ができない。戦略プラン以前に、まず上位構想・計画をしっかりと作るべきである。	1件	今後の未来構想の改定及び戦略プランの推進の際に配慮していきます。
37	巻末にある指標の選定理由と設定根拠について、本文に書いたほうがいいのではないか。	1件	指標の選定理由と設定根拠については、文章量が多いことや、施策の概要を簡潔に説明するために巻末に置いています。
38	全体としてカタカナ用語を減らし、市民に分かりやすい日本語で表記すべきである。	1件	一般的でないカタカナ語については使用を控え、固有名詞やニュアンスが正確に伝わらないものについては本文での説明や注釈で対応します。

○ まちづくりのアイデア について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
39	つくば市でも六麓荘町のような住宅の高さ制限や最低土地面積の制限がある住宅地区が欲しい。また、ペDESTリアンを有効活用し、イベントや屋台、フードコート等をつくり、そこで若い人が店を持つまでの修行の場となるような地域や、高級スーパーやデパ地下、手土産を買えるような店があればいい。	1件	先進的な事例から学ぶことは多いことから、戦略プランで示した施策の推進に当たり、参考にさせていただきます。
40	駅前マンション開発では風紀を重視し、ベランダの透明を禁止し、洗濯物が見えないようにすることや、マンション全周を緑で囲む等配慮すべきである。また、TXのスピードを時速160km（在来線最速と並ぶ）以上にすること	1件	示唆に富む内容であり、戦略プランで示した施策の推進に当たり、参考にさせていただきます。

	とや、タバコのポイ捨て禁止区域を拡大し、喫煙者に吸い殻を拾わせるべきである。		
--	--	--	--

○ 持続可能都市・SDGs について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
41	つくば市が北関東圏でいち早く、「SDGs 未来都市」に選出された事を評価しているが、SDGs の位置づけが構想の一部になっているように思われる。SDGs が目標とする社会をみんなで創るために未来構想があるのだといえ市民は理解しやすいため、構成を考えて欲しい。	1件	SDGs をまちづくりの基本とし、持続可能都市を目指すことが未来構想の根本となり、「目指すまちの姿」については、持続可能都市ビジョンが基礎となっています。社会情勢や地域特性、市民の声等を踏まえ、SDGs を自治体のスケールに落とし込み、つくば市の未来像や戦略として位置づけていることから、第1章にSDGs の説明を追加します。

■ 修正の内容

○ 第1章 未来構想の概要 1 未来構想策定の趣旨 について

修正前	修正後
記載なし	<p><u>現在、つくば市では、まち・ひと・しごと創生（高齢化の進行や将来起こりうる少子化）への対応、中心市街地の活力低下など様々な課題が山積しています。また、国が提唱するSociety5.0と呼ばれる新たな社会像が示されるとともに、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられました。SDGsでは、「誰一人取り残さない」という包摂的な理念の下、持続可能な開発のための様々な取組が世界共通で進められています。</u></p>

つくば市では、 <u> </u> 社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、2015年度に策定した「つくば市未来構想（以下、未来構想）」を2019年度に改定しました。	つくば市では、 <u>そのような</u> 社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、2015年度に策定した「つくば市未来構想（以下、未来構想）」を2019年度に改定しました。
--	---

○ 第1章 未来構想の概要 3 目指すまちの姿 について

修正前	修正後
Ⅲ 未来をつくる人が育つまち 自分たちのまちと世界の <u> </u> 未来について考え、よりよい未来を次の世代に引き継いでいけるよう、自ら行動する人が育つまち。	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち 自分たちのまちと世界を <u>知り、</u> 未来について考え、よりよい未来を次の世代に引き継いでいけるよう、自ら行動する人が育つまち。

※「つくば市未来構想改定（案）」に寄せられたパブリックコメントにより修正した内容を、戦略プランにも反映し、修正しました。

○ 第2章 まち・ひと・しごと創生との連携 について

修正前	修正後
国では、 <u>人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、日本全体で一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴をいかした自律的で持続的な社会を創生することを目指しています。人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、「活力ある日本社会」を維持するため、国では6つの基本目標に向けた政策を進めています。</u> <u>「地方へのひと・資金の流れを強化する」</u> <u>「新しい時代の流れを力にする」</u> <u>「人材を育て活かす」</u> <u>「民間と協働する」</u>	国では、 <u>将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指すため、4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取組を進めています。</u> <u>【基本目標1】稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする</u> <u>【基本目標2】地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる</u> <u>【基本目標3】結婚・出産・子育て</u>

<p>「誰もが活躍できる地域社会をつくる」 「地域経営の視点で取り組む」</p>	<p>の希望をかなえる 【基本目標4】ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 【横断的な目標1】多様な人材の活躍を推進する 【横断的な目標2】新しい時代の流れを力にする</p>
--	--

※パブリックコメントによるものではありませんが、内閣府から「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が示されたため、それにあわせて修正しました。

○ 第3章 戦略プランの基本的な考え方 2 推進体制 について

修正前	修正後
<p>(2) 地域・市民の力や民間活力等の活用による推進 つくば市は、筑波研究学園都市の研究機関や研究者、<u>多様な市民や学生</u>、地元根付いた企業に加え、多数の外国人も居住する国際都市として多くの地域・人的資源を有しています。また、つくばを巣立った若者や学生、仕事や余暇等につくばを訪れた多くの人が関係人口として全国や世界に広がっています。</p>	<p>(2) 地域・市民の力や民間活力等の活用による推進 つくば市は、筑波研究学園都市の研究機関や研究者、<u>学生をはじめ、NPO法人・市民団体や多様な市民</u>、地元根付いた企業に加え、多数の外国人も居住する国際都市として多くの地域・人的資源を有しています。また、つくばを巣立った若者や学生、仕事や余暇等につくばに<u>滞在・訪れた</u>多くの人が関係人口として全国や世界に広がっています。</p>

○ 第3章 戦略プランの基本的な考え方 5 つくばが「つながる」ための視点 について

修正前	修正後
記載なし	<p>② <u>知識や経験がつながる</u> <u>ビジネスや研究等の様々な知識や経験を持った人達が気軽に集える場所や機会を設けることで、新たな挑戦やイノベーションを生み出すとともに、さらに人を呼び込む好循環につながることを目指します。</u></p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、第2期つくば市戦略プランを策定するための審議会でご意見をいただいたため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 I-1-① 地域活動と市民チャレンジへの支援について

修正前	修正後
<p>■個別施策の指標 (指標1) 市民活動センターにおける相談件数を増やします (現状値と目標値) <u>現状値</u> 235件 (2018年度) →300件 (2024年度)</p>	<p>■個別施策の指標 (指標1) 市民活動センターにおける相談件数を増やします (現状値と目標値) <u>235件</u> (2018年度) →300件 (2024年度)</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、文言を統一するため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 I-1-④ SDGs普及による市民活動の促進について

修正前	修正後
<p>■個別施策の指標 (指標1) つくばSDGsパートナーズ会員が、SDGsに関する社会課題の取組に参加している割合を増加させます。 (現状値と目標値) <u>なし</u>(2019年度アンケート実施予定) →<u>調整中</u> (2024年度) (アンケートは2020年に実施を予定しているため、現状値及び目標値は調整中)</p>	<p>■個別施策の指標 (指標1) つくばSDGsパートナーズ会員が、SDGsに関する社会課題の取組に参加している割合を増加させます。 (現状値と目標値) <u>38.1%</u> (2019年度) →<u>43.9%</u> (2024年度)</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、現状値がでたため、数値を修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 I-2-② 豊かな資源をいかした観光の振興について

修正前	修正後
<p>■個別施策の現状</p> <p>□うまくいっている点</p> <p>筑波山や宝篋山、牛久沼などの豊かな自然は多くの人に親しまれており、加えて、筑波山地域ジオパーク※や日本夜景遺産、_____サイエンスツアー※などの特徴的な観光資源もあることから、国内外から様々な世代の観光客が訪れています。</p>	<p>■個別施策の現状</p> <p>□うまくいっている点</p> <p>筑波山や宝篋山、牛久沼などの豊かな自然は多くの人に親しまれており、加えて、筑波山地域ジオパーク※や日本夜景遺産、<u>つくばサイエンスツアー</u>※などの特徴的な観光資源もあることから、国内外から様々な世代の観光客が訪れています。</p>
<p>■主要プロジェクト</p> <p>P J ② 体験型観光の推進</p> <p>筑波山や牛久沼等の_____</p> <p>_____</p> <p>_____自然体験（アウトドア活動）、農業体験や_____、研究・学術施設等の点在する体験型観光の連携と回遊性を強化し、「コト消費」による観光事業を推進します。</p>	<p>■主要プロジェクト</p> <p>P J ② 体験型観光の推進</p> <p>筑波山や牛久沼等の<u>身近な自然や風景</u>について、<u>観光や健康増進等の多角的な視点から楽しみ、肌で感じられる自然体験</u>_____、<u>農業体験に加え</u>、研究・学術施設等の点在する体験型観光の連携と回遊性を強化し、「コト消費」による観光事業を推進します。</p>

○ 第5章 基本施策と個別施策 I-3-① 魅力ある研究学園都市地域の推進 について

修正前	修正後
<p>■主要プロジェクト</p> <p>(P J ①)</p> <p>科学技術を取り入れたまちづくりの推進</p> <p>(概要)</p> <p>_____イノベーション拠点の創出_____や科学技術が日常に取り入れられることで、身近に科学があふれ、それらを学べる環境等のつくばならではのまちづくりに取り組むことにより魅力を向上させます。</p>	<p>■主要プロジェクト</p> <p>(P J ①)</p> <p>科学技術を取り入れたまちづくりの推進</p> <p>(概要)</p> <p><u>ビジネスや研究等の様々な知識や経験がつながるイノベーション拠点を創出すること</u>や科学技術が日常に取り入れられることで、身近に科学があふれ、それらを学べる環境等のつくばならではのまちづくりに取り組むことにより魅力を向上させます。</p>
<p>■主要プロジェクト</p>	<p>■主要プロジェクト</p>

<p>P J ② 緑豊かな市街地創出に向けた街並み誘導の実施 (概要 2段落目) また、<u>公務員宿舎の再整備を迎えるに当たり</u>、良好な都市環境を誘導するため、地区計画等の法的規制に加えた任意の誘導を検討します。_____</p>	<p>P J ② 緑豊かな市街地創出に向けた街並み誘導の実施 (概要 2段落目) また、<u>公務員宿舎跡地等については</u> _____、良好な都市環境を誘導するため、地区計画等の法的規制に加えた任意の誘導を検討します。<u>なお、つくば駅に近接した街区については、つくば中心市街地まちづくり戦略を踏まえた都市機能の誘導を図ります。</u></p>
---	--

※パブリックコメントによるものではありませんが、第2期つくば市戦略プランを策定するための審議会で見解をいただいたため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 II-3-① 市の備蓄の推進や公共施設の機能維持 について

修正前	修正後
<p>■個別施策の指標 (指標3) 全公共施設に非常用電源(ポータブル発電機を含む)を整備します。 (現状値と目標値) 停電時稼働可能施設数5件(つくば市役所本庁舎、メモリアルホール、荃崎交流センター、カピオ、ふれあいプラザ) _____ ➔ 全公共施設 _____</p>	<p>■個別施策の指標 (指標3) 全公共施設に非常用電源(ポータブル発電機を含む)を整備します。 (現状値と目標値) 停電時稼働可能施設数5件(つくば市役所本庁舎、メモリアルホール、荃崎交流センター、カピオ、ふれあいプラザ) <u>(2019年度)</u> ➔ 全公共施設 <u>(2024年度)</u></p>
<p>■個別施策の指標 (指標4) 災害対応用水源を増加させます。 (現状値と目標値) 災害対応用水源施設数(災害用井戸7施設、耐震性貯水槽6施設 合計13施設) _____ ➔ 17施設 <u>(2024年度)</u></p>	<p>■個別施策の指標 (指標4) 災害対応用水源を増加させます。 (現状値と目標値) 災害対応用水源施設数(災害用井戸7施設、耐震性貯水槽6施設 合計13施設) <u>(2019年度)</u> ➔ 17施設 <u>(2024年度)</u></p>
<p>■主要プロジェクト P J ① 災害に対する安定した備蓄の推進</p>	<p>■主要プロジェクト P J ① 災害に対する安定した備蓄の推進</p>

概要 また、 <u>現在</u> は上郷高校跡地の体育館を使用し備蓄品を仮置きしているため、防災備蓄倉庫を整備し、安定した備蓄体制づくりを進めます。	概要 また、 <u>2019年度末時点</u> では上郷高校跡地の体育館を使用し備蓄品を仮置きしているため、防災備蓄倉庫を整備し、安定した備蓄体制づくりを進めます。
--	--

※パブリックコメントによるものではありませんが、文言を統一するため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 II-3-② 自宅の安全・備蓄対策や地域での支えあいの推進 について

修正前	修正後
<p>■主要プロジェクト</p> <p>P J ② つくば市自主防災活動支援補助金の交付</p> <p>概要 地域の自主防災組織が活動するための経費について補助を行う<u>。</u></p>	<p>■主要プロジェクト</p> <p>P J ② つくば市自主防災活動支援補助金の交付</p> <p>概要 地域の自主防災組織が活動するための経費について補助を行<u>いま</u>す。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、文言を統一するため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 II-6 身近な自然を守り、楽しみ、持続させる について

修正前	修正後
<p>■ギャップと施策の方向性</p> <p>□基本施策の方向性</p> <p>環境教育や農業体験を行う体験型イベントを実施し、実際に<u>。</u></p> <p><u>。</u>自然を見て触って、自然の良さを楽しみながら知る機会を創出することや、自然の良さを伝える団体等の活動支援を行うこと、本来の自然に戻すための方法を調査し、保全のための活動を行うこと、「自然」と「健康」を結びつけるなど、持続的な取組を行うための仕組みをつくる必要があります。</p>	<p>■ギャップと施策の方向性</p> <p>□基本施策の方向性</p> <p>環境教育や農業体験を行う体験型イベントを実施し、実際に<u>筑波山や牛久沼をはじめ、里山や河川などの身近な</u>自然を見て触って、自然の良さを楽しみながら知る機会を創出することや、自然の良さを伝える団体等の活動支援を行うこと、本来の自然に戻すための方法を調査し、保全のための活動を行うこと、「自然」と「健康」を結びつけるなど、持続的な取組を行うための仕組みをつくる必要があります。</p>
<p>■今後5年間で取組むこと</p>	<p>■今後5年間で取組むこと</p>

<p>(個別施策1) 身近な自然を楽しむ環境づくり</p> <p>(方針) _____自然の良さや気づきを得られるレクリエーションの場を提供します。</p> <p>_____自然の良さを伝える人・団体を育成します。</p>	<p>(個別施策1) 身近な自然を楽しむ環境づくり</p> <p>(方針) <u>身近な</u>自然の良さや気づきを得られるレクリエーションの場を提供します。</p> <p><u>あわせて</u>、自然の良さを伝える人・団体を育成します。</p>
---	---

○ 第5章 基本施策と個別施策 II-6-① 身近な自然を楽しむ環境づくり について

修正前	修正後
<p>■個別施策の目的と方向性</p> <p>楽しんで自然学習や保全活動に関わることができる環境を作るために、</p> <p>_____自然の良さや気づきを得られるレクリエーションの場を提供するだけではなく、_____自然の良さを伝える人・団体の育成も実施します。</p>	<p>■個別施策の目的と方向性</p> <p>楽しんで自然学習や保全活動に関わることができる環境を作るために、<u>筑波山や牛久沼をはじめ、里山や河川などの身近な</u>自然の良さや気づきを得られるレクリエーションの場を提供するだけではなく、<u>身近な</u>自然の良さを伝える人・団体の育成も実施します。</p>
<p>■個別施策の指標</p> <p>(指標2) 筑波山地域ジオパーク認定ジオガイドの活動実績(ガイド実施延べ人数)を<u>増や</u>_____します。</p>	<p>■個別施策の指標</p> <p>(指標2) 筑波山地域ジオパーク認定ジオガイドの活動実績(ガイド実施延べ人数)を<u>高い水準で維持</u>します。</p>

○ 第5章 基本施策と個別施策 II-6-② 自発的な保全活動の推進 について

修正前	修正後
<p>■個別施策の目的と方向性</p> <p>自発的な保全活動につなげるため、</p> <p>_____様々な自然体験学習を通じて、地域住民一人ひとりの環境に対する問題意識を高めます。</p>	<p>■個別施策の目的と方向性</p> <p>自発的な保全活動につなげるため、<u>筑波山や牛久沼をはじめ、里山や河川などの</u>様々な自然体験学習を通じて、地域住民一人ひとりの環境に対する問題意識を高めます。</p>
<p>■個別施策の指標</p> <p>(指標1) 環境を守る活動をしている人の割合を増加させます。</p> <p>(現状値と目標値) 「つくば市きれ</p>	<p>■個別施策の指標</p> <p>(指標1) 環境を守る活動をしている人の割合を増加させます。</p> <p>(現状値と目標値) 「つくば市きれ</p>

いなまちづくりアンケート調査」の設問「あなたは、日頃から環境を守る活動に参加していますか。」における「参加している」と回答する人の割合 <u>現状値なし</u> (2019年度アンケート実施予定) → (調整中) % (2024年度)	いなまちづくりアンケート調査」の設問「あなたは、日頃から環境を守る活動に参加していますか。」における「参加している」と回答する人の割合 <u>35.8%</u> (2019年度) → <u>50.0</u> % (2024年度)
---	--

※指標の修正については、パブリックコメントによるものではありませんが、現状値が出たため、数値を修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 Ⅲ-1-① こどもを安心して生み育てられる環境整備 について

修正前	修正後
<p>■主要プロジェクト P J ① <u>こども・子育て支援の充実</u></p> <p>■主要プロジェクト P J ② 支援を必要とするこどもや家庭への支援の充実 概要 さらに、設置を予定している (2019年度現在) <u>児童発達センター</u>の開設にあわせて関係機関間の連携を更に強化します。</p>	<p>■主要プロジェクト P J ① <u>子ども・子育て支援の充実</u></p> <p>■主要プロジェクト P J ② 支援を必要とするこどもや家庭への支援の充実 概要 さらに、設置を予定している <u>児童発達支援センター</u>の開設にあわせて関係機関間の連携を更に強化します。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む について

修正前	修正後
<p>■今後5年間で取組むこと 個別施策3 就学前におけるこどもの<u>学び</u>の充実 方針 市内の教育・保育施設において充実した幼児教育を受けられる環境が<u>整備され、学びに向かう力や</u> <u>非認知能力を向上させ、幼児教育で培ったことを継ぎ目無く小学校につなげていきます。</u></p>	<p>■今後5年間で取組むこと 個別施策3 就学前におけるこどもの<u>遊びや体験</u>の充実 方針 市内の教育・保育施設において充実した幼児教育を受けられる環境を<u>整備し、自主的な遊びや体験の中で楽しみながら非認知能力を向上させ、幼児期に培ったことを継ぎ目無く小学校につなげていきます。</u></p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、第2期つくば市戦略プランを策定するための審議会でご意見をいただいたため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 Ⅲ-2-① 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出 について

修正前	修正後
<p>■主要プロジェクト P J ④ 安全で快適な教育環境の整備</p> <p>概要 こどもたちが日々、安全で快適な教育環境のもと学習に取り組めるよう、既存施設の改修を進めるとともに、トイレの洋式化・エアコンの設置及び給食施設等の教育<u>施設</u>環境の充実を図ります。</p>	<p>■主要プロジェクト P J ④ 安全で快適な教育環境の整備</p> <p>概要 こどもたちが日々、安全で快適な教育環境のもと学習に取り組めるよう、既存施設の改修を進めるとともに、トイレの洋式化・エアコンの設置及び給食施設等の教育<u>環境</u>の充実を図ります。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 Ⅲ-2-③ 就学前におけるこどもの遊びや体験の充実 について

修正前	修正後
<p>■個別施策の目標と方向性</p> <p>こどもたちの自発性を大切にし、<u>特に遊びの中で楽しみながら</u>、やる気、意欲、粘り強さ、探求していく力を育てていくため、<u>_____</u></p> <hr/> <p><u>_____</u>「目標に向かって頑張る力」 「人とうまく関わる力」「感情をコントロールする力」などの非認知的能力を向上させます。<u>_____</u></p> <hr/>	<p>■個別施策の目標と方向性</p> <p>こどもたちの自発性を大切にし、<u>楽しみながら_____</u>、やる気、意欲、粘り強さ、探求していく力を育てていくため、<u>自然の中で、一人や複数人、異年齢グループ等において様々な形の遊びや体験をすることで</u>、「目標に向かって頑張る力」「人とうまく関わる力」「感情をコントロールする力」などの非認知的能力を向上させます。<u>あわせて、保幼小で連携し、幼児期に培ったことを継ぎ目無く小学校につなげていきます。</u></p>
<p>■主要プロジェクト P J ① <u>協同的</u>な遊びや様々な体験の充実</p>	<p>■主要プロジェクト P J ① <u>協働的</u>な遊びや様々な体験の充実</p>
<p>■主要プロジェクト</p>	<p>■主要プロジェクト</p>

P J ② <u>茨城県幼保小接続カリキュラムの推進</u>	P J ② <u>保幼小連携の推進</u>
■関連個別計画 計画名 記載なし	■関連個別計画 計画名 <u>つくば保育の質ガイドライン（2019年度～）</u>

※パブリックコメントによるものではありませんが、第2期つくば市戦略プランを策定するための審議会でご意見をいただいたため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 Ⅲ-3-① 多様性をいかした社会の推進 について

修正前	修正後
<p>■個別施策の現状</p> <p><input type="checkbox"/> うまくいっている点</p> <p>つくば市は、<u>約 200</u> か国、<u>9,400</u> 人の在留外国人（2019年4月現在）が集う国際都市であり、年間を通してつくばフェスティバルやワールドフットサル、国際理解講座等の国際色豊かなイベントが多数開催されています。</p>	<p>■個別施策の現状</p> <p><input type="checkbox"/> うまくいっている点</p> <p>つくば市は、<u>136</u> か国、<u>約 9,400</u> 人の在留外国人（2019年4月現在）が集う国際都市であり、年間を通してつくばフェスティバルやワールドフットサル、国際理解講座等の国際色豊かなイベントが多数開催されています。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる について

修正前	修正後
<p>■ギャップと施策の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 未来像とのギャップ</p> <p>地域の安定的な雇用・税収の確保や<u>賑わい</u>創出には、活力ある地場産業等が不可欠ですが、競争力低下により、しごとの魅力が失われ、後継者不足につながるなど、持続可能な成長モデルが実現できているとは言いがたい現状があります。</p>	<p>■ギャップと施策の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 未来像とのギャップ</p> <p>地域の安定的な雇用・税収の確保や<u>にぎわい</u>創出には、活力ある地場産業等が不可欠ですが、競争力低下により、しごとの魅力が失われ、後継者不足につながるなど、持続可能な成長モデルが実現できているとは言いがたい現状があります。</p>
<p>■施策の指標 (指標1)</p> <p>つくば市ふるさとハローワークでの</p>	<p>■施策の指標 (指標1)</p> <p>新規創業に伴う新規就職者数を増加</p>

若者の正規雇用者数を増加させます。 (現状値と目標値) 現状値なし→ <u>675人</u> (2020年度～2024年度)	させます。 (現状値と目標値) 現状値なし→ <u>390人</u> (2020～2024年度)
--	--

※パブリックコメントによるものではありませんが、文言を統一するため、また、より適切な指標を設定するため修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 IV-3-① 人とテクノロジーが共生するスマートシティの推進 について

修正前	修正後
<p>■個別施策の現状</p> <p>□うまくいっている点</p> <p>2019年10月には、つくば市のスマートシティ化を進めるに当たり、今後幅広い活用が見込まれる個人のデータのセキュリティ確保やシステムの安全性・透明性担保等に対する市民等の懸念を和らげ、地域に先端技術を社会実装していく際の中心は常に市民であることを示すため、市として守るべき<u>倫理原則</u>を制定しました。</p>	<p>■個別施策の現状</p> <p>□うまくいっている点</p> <p>2019年10月には、つくば市のスマートシティ化を進めるに当たり、今後幅広い活用が見込まれる個人のデータのセキュリティ確保やシステムの安全性・透明性担保等に対する市民等の懸念を和らげ、地域に先端技術を社会実装していく際の中心は常に市民であることを示すため、市として守るべき「<u>つくばスマートシティ倫理原則</u>」を制定しました。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

○ 第5章 基本施策と個別施策 IV-4-④ 低炭素化の推進 について

修正前	修正後
<p>■個別施策の目的と方向性</p> <p>行政が市民、事業者それぞれに必要な情報を適切な形で提供し、新たな取組やサービスの展開を促進します。</p>	<p>■個別施策の目的と方向性</p> <p><u>2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26.0%削減すること</u>を目標に、行政が市民、事業者それぞれに必要な情報を適切な形で提供し、新たな取組やサービスの展開を促進します。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、分かりやすい文章とするため、文言を追記しました。

○ 資料編 1 用語解説 について

修正前	修正後
17 <u>サイエンスツアー</u> <u>研究教育機関等を</u> <u>周遊し、見学等をするツアー</u>	17 <u>つくばサイエンスツアー</u> <u>つくば市内等にある研究教育機関を</u> <u>周遊し、見学等をするツアー。</u>
21 記載なし	21 <u>リフォーム</u> <u>原状回復のための修繕・営繕、不具</u> <u>合箇所への部分的な対処。</u>
22 記載なし	22 <u>リノベーション</u> <u>機能、価値の再生のための改修、そ</u> <u>の家での暮らし全体に対処した包括</u> <u>的な改修。</u>
58 記載なし	58 <u>モビリティマネジメント</u> <u>1人1人のモビリティ（移動）が、</u> <u>社会的にも個人的にも望ましい方向</u> <u>（過度な自動車利用から公共交通等</u> <u>を適切に利用する等）に変化すること</u> <u>を促す、コミュニケーションを中</u> <u>心とした交通政策。</u>
90 記載なし	90 <u>つくば市デジタル・ガバメント</u> <u>推進体制</u> <u>官民データ活用推進基本法及びデジ</u> <u>タル・ガバメント実行計画に基づき、</u> <u>本市における電子行政を推進すると</u> <u>ともに、つくば市情報化推進計画に</u> <u>おける各施策を総合的かつ全庁横断</u> <u>的に行うことを目的として、2019年</u> <u>8月1日付けで設置した体制のこ</u> <u>と。</u>

※パブリックコメントによるものではありませんが、解説が必要な用語を追記しました。

○ 資料編 2 基本施策・個別施策指標の選定理由と設定根拠 について

修正前	修正後
I-1-④ SDGs 普及による市民活動の促進 ア) つくばSDGs パートナーズ会員が、SDGs に関する社会課題の取組に参加している割合を増加させ	I-1-④ SDGs 普及による市民活動の促進 ア) つくばSDGs パートナーズ会員が、SDGs に関する社会課題の取組に参加している割合を増加させ

<p>ます。</p> <p>イ) <u>なし</u> (2019 年度アンケート実施予定) → <u>調整中</u> (2024 年度) (アンケートは 2020 年に実施を予定しているため、現状値及び目標値は調整中)</p> <p>ウ) SDG s パートナーズの会員が、ただ SDG s を知っているというだけでなく、実際に SDG s の取組を進めているかという実績を確認できます。</p> <p>エ) <u>今年度のアンケート結果により、目標値を設定予定 (2020 年 3 月)。(アンケートは 2020 年に実施を予定しているため、現状値及び目標値は未入力)</u></p>	<p>ます。</p> <p>イ) <u>38.1 %</u> (2019 年度) → <u>43.9%</u> (2024 年度)</p> <p>ウ) SDG s パートナーズの会員が、ただ SDG s を知っているというだけでなく、実際に SDG s の取組を進めているかという実績を確認できます。</p> <p>エ) <u>2019 年度 12 月に実施したアンケート調査の回答から、会員 203 人 (2019 年 12 月時点) における社会課題取組人数を 77 人 (A) (約 38%) と推計。</u> <u>5 年間で新たに加入する個人会員を 300 人 (B) に、現状値から既に社会課題に参加している人の割合を 114 人 (C) と想定 (300 人中 38.1%)。</u> <u>SDG s TRY (1 期間 = 2 年) の参加者 (1 期間 30 人と想定) のうち、半数が新たに社会課題の取組に参加した場合、5 年間で参加人数は 30 人 (D)</u> <u>(A + C + D) / (既存会員 203 人 + B) = 43.9%</u></p>
<p>II-2-② 誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備</p> <p>ア) ボランティア登録数を増加させます。</p> <p>イ) 4,440 人 (2018 年度) → 8,000 人 (2024 年度)</p> <p>ウ) 社会的な役割 (地域貢献含む) が重要であることから <u>社会福祉協議会のボランティア従事者の増加を目指します。</u></p>	<p>II-2-② 誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備</p> <p>ア) ボランティア登録数を増加させます。</p> <p>イ) 4,440 人 (2018 年度) → 8,000 人 (2024 年度)</p> <p>ウ) 社会的な役割 (地域貢献含む) が重要であることから <u>ボランティア従事者の増加を目</u></p>

<p>エ) これまでの実績に加え、事業拡大を見込み目標値を設定します。第7期高齢者福祉計画（2018年度～2020年度）における、2020年度の目標値が6,400名。</p>	<p>指します。 エ) これまでの実績に加え、事業拡大を見込み目標値を設定します。第7期高齢者福祉計画（2018年度～2020年度）における、2020年度の目標値が6,400名。</p>
<p>II-6-② 自発的な保全活動の推進 ア) 環境を守る活動に参加している人の割合を増加させます。（出典：筑波氏きれいなまちづくりアンケート調査） イ) 「つくば市きれいなまちづくりアンケート調査」の設問「あなたは、日頃から環境を守る活動に参加していますか。」における「参加している」と回答する人の割合 <u>なし</u>（2019年度アンケート実施予定）→（調整中）%（2024年度） ウ) 自発的な環境保全活動を行っている人の割合を把握できるため、指標とします。 エ) <u>今年度の結果により、目標値を設定します。2019年12月入力予定</u></p>	<p>II-6-② 自発的な保全活動の推進 ア) 環境を守る活動に参加している人の割合を増加させます。（出典：筑波氏きれいなまちづくりアンケート調査） イ) 「つくば市きれいなまちづくりアンケート調査」の設問「あなたは、日頃から環境を守る活動に参加していますか。」における「参加している」と回答する人の割合 <u>35.8%</u>（2019年度_____）→<u>50.0</u> %（2024年度） ウ) 自発的な環境保全活動を行っている人の割合を把握できるため、指標とします。 エ) <u>市民の過半数の方が活動に参加することで、意識の醸成や取組の効果がより大きくなることを期待できるため、過半数となる50%を目標とします。</u></p>
<p>IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる ア) <u>つくば市ふるさとハローワークでの若者の正規雇用者数を増加させます。</u> イ) 現状値なし→<u>675</u>人（2020年度～2024年度）（2019年6月からつくば市ふるさとハローワークでの正規雇用者数の集計を始めたため、現状値なし。） ウ) 「<u>地元で頑張る組織や人が成長し続けるまち</u>」では、地元での若者</p>	<p>IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる ア) <u>新規創業に伴う新規就職者数を増加させます。</u> イ) 現状値なし→<u>390</u>人（2020____～2024年度）_____ ウ) <u>市内の新規創業に伴う新規就職者数の増加は、地域の雇用確保や新</u></p>

<p>の雇用創出に繋がることを期待できるため、つくば市ふるさとハローワークでの若者の常時雇用者数を指標とします。</p>	<p>規創業支援の取組の効果を示すと考えられるため、指標として設定します。</p>
<p>エ) 2019年6月の正規雇用者数の実績値が10人であるため、年に120人の雇用があると想定します。2019年想定値の120人から毎年5人ずつの増加を目標とし、2020年度から2024年度の5年間で675人を目標としています。</p>	<p>エ) つくば市創業支援事業計画における新規創業件数の目標値78件/年に、2019年の調査結果である創業1社あたりの採用割合1人を乗じた78人/年×5年間分=390人を目標値に設定します。</p>

※パブリックコメントによるものではありませんが、第2期戦略プラン本編での指標の修正にあわせ、資料編も修正しました。